

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	プライム	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.490	△RG	0.050	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：プライム

フレアーの幅 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

番

研磨剤

比較対照ボール：ジ・エンペラーブラック

フレアーの幅 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

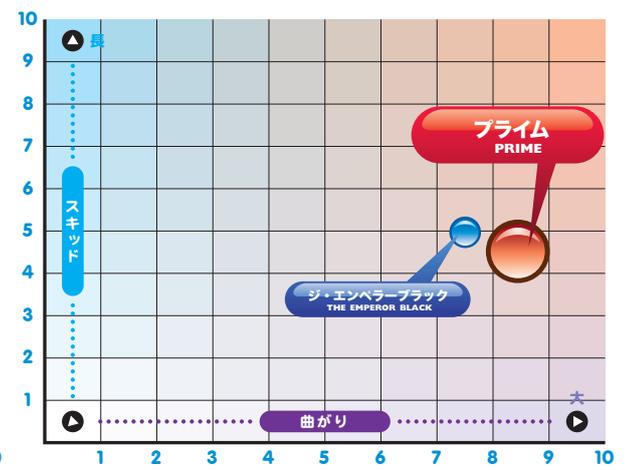
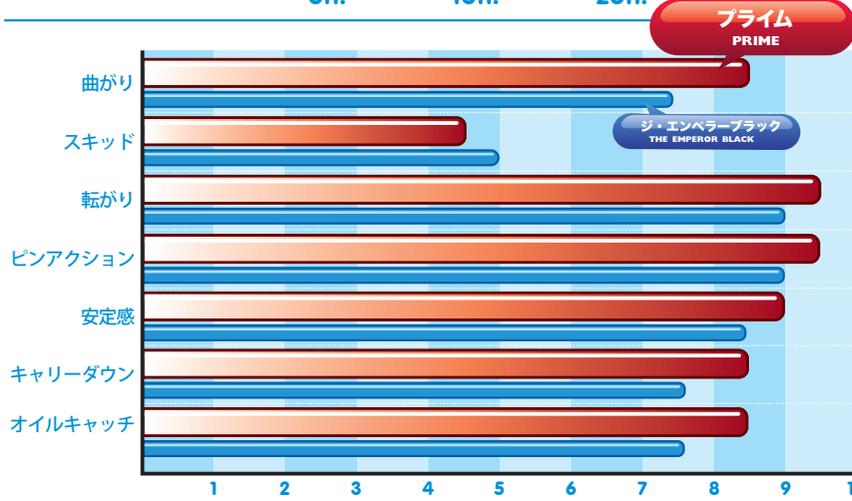
PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

番

研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

ABS開発チームは、PRO-amブランドの開発にあたり全く新しいパフォーマンスを求め、テストを進めてきました。そして今回新しいハイパフォーマンスシリーズの第一弾として”PRIME”をリリース致します。PRIMEは手前の走りや強いミッドレーンのキャッチが得られ、攻撃的なライン取りを可能にするボールで、今までのPRO-amブランドのポリッシュ仕上げのボールで、最もパフォーマンスが高く感じられる仕上がりになっています。

”Magnigrit Pearl Reactive”と名付けられた新開発カバーストックは、オイルの吸収を抑え、ドライゾーンでの摩擦力の高さが特徴です。ウエイトブロックは”Triaxial 1.0 Core”という日本人ボウラーに焦点をあて、ABSのために新開発されたコアで、慣性モーメントは低く設計されています。

新しいカバーストックは開発コンセプト通り手前のエネルギーロスが少なく、クリアな走りの印象があります。

注目すべきはミッドレーンでの動き出しの安定感であり、ボールが手から離れた瞬間から転がりの良さをみせ、軌道の安定をはかっています。そしてドライゾーンで摩擦力を強めたカバーの特徴が活きており、曲がりの安定感を感じるとともにアグレッシブさも兼ね備えている、日本のボウラーが”曲がっている”という印象を持って頂けるリアクション性能だと思えます。オイルキャッチは強く感じるのに手前のスキッドの軽さを感じる部分であったり、中盤から後半にかけてエネルギーの出方が非常に強く出て強くブレーキがかかるのに、ピンヒットまで曲がりが弱まることなく走り抜ける感じは、今までのPRO-amブランドにはない性能であり、間違いなくPRO-amブランドで最高峰と言っても過言ではないだろうと思います。

特記事項

次世代のカバーストックと日本人のボウラーに焦点を当てたコア。この双方のコラボレーションはブランド最高峰の出来栄と断言して間違いのない製品です。